

一般社団法人 奈良県臨床検査技師会 2024 年度定時総会議事録

開催日時：2024 年 5 月 26 日（日）13:00～14:00

開催場所：奈良県立医科大学 大講堂

会員数：721 名（5 月 26 日現在）

出席者：518 名（当日出席者 102 名、委任状による出席者 416 名）

欠席者：203 名

I 仮議長挨拶

嶋田事務局長から議長が選出されるまで仮議長を担当する旨、挨拶があった。

II 開会の辞

森嶋副会長が、2024 年度一般社団法人奈良県臨床検査技師会定時総会を開催する旨、宣告した。

III 会長挨拶

倉田会長から、只今より総会を開始する、審議をお願いします、との挨拶があった。

IV 来賓の紹介と挨拶

嶋田事務局長から本年度は来賓の方の出席はないと報告があった。

V 議長選出

仮議長から議長候補について出席者に自薦、他薦を求めるも候補はなく、事務局が大西雅人（奈良県立医科大学附属病院）、松本克也（市立奈良病院）の二氏を推薦し、拍手多数にて承認され議長就任の挨拶の後、議事に入った。

VI 議事

1. 総会役員選出

大西議長から総会役員候補について出席者に自薦、他薦を求めるも候補はなく、議長に一任となり事務局から推薦するようとの指示があり、下記の会員が推薦され拍手多数にて承認された。

[資格審査委員（兼議事運営委員）]

山本賢次（済生会御所病院）資格審査委員長兼議事運営委員長

新家徹也（天理よろづ相談所病院）

高橋光一郎（天理よろづ相談所病院）

森分和也（奈良県立医科大学附属病院）

〔書記〕

山田勇喜（天理よろづ相談所病院）

溝端亮兵（奈良県立医科大学附属病院）

2. 総会成立の宣言

山本資格審査委員長から、本日の出席者数 518 名（出席者 102 名、委任状出席者 416 名）で正会員数（721 名）の過半数に達しているため、総会が成立するとの宣言があった。

3. 議案審議

(1) 第 1 号議案：2023 年度事業経過報告について

大西議長から、2023 年度事業経過報告について一括報告後に質疑を求めるとの説明後、各担当理事から議案書に沿って説明があった。

① 総括：倉田会長

2023 年度は、新型コロナウイルス感染症に対する感染症上の位置づけが 5 類へと移行し、ポストコロナでの事業展開となった。また、約 3 年ぶりに検査と健康展を開催した。新型コロナに伴う様々な経験をふまえて、会員のために従来の延長ではなく新しい価値観を求めて役員一丸となり事業に明け暮れた一年であったとの報告がなされた。開催した主な事業について、議案書に基づき要旨の説明があった。

② 事務局 総務部：嶋田事務局長

2023 年度定時総会を 2023 年 5 月 28 日（日）天理よろづ相談所病院にて開催した。定例の活動に加えて、今年度は奈臨技の広報を目的として広報部門と協力し、インスタグラムと X（旧ツイッター）を開設した報告があり、訪問・フォローのお願いがなされた。また、奈臨技ニュースを電子化する準備が整い次第、書面発行を中止する予定であること、並びにまほろばについては継続審議をしていることが報告された。

③ 事務局 経理部：上杉経理部長

財政の健全化に向け、収入・支出の適正化を考えた上で技師会活動を活発・円滑に行うため、会費・助成金等が適正かつ効率的に運用されるよう予算編成を行い、執行した。また、税理士のコンサルティングのもと一般社団法人としての財務・税務会計の維持に努めたことが報告された。

④ 組織法基部：西原組織法規部長

技師会活動普及のための行事を参画し、2024 年 1 月 6 日（土）施設代表者・連絡責任者合同会議を開催した。また、2024 年 3 月 24 日（日）奈臨技会員のための研修会を開催したことが報告された。

⑤ 学術部関係：森嶋副会長、小泉学術部長、中村精度管理担当部長、小谷生涯教育担当部長

学術理事は4名体制にて、検査研究部門、精度管理推進部門、生涯教育研修部門の各理事と学術担当副会長と共にそれぞれの委員会を中心とした活動を行った。

検査研究部門は、検査研究部門及び分野を通じた研修会と第40回奈良県医学検査学会の企画を行った。第39回奈良県医学検査学会は学会テーマを『臨床検査技師の未来を共に歩む』とし、2023年6月4日（日）天理よろづ相談所病院にて開催した。優秀な発表演題には会長賞ならびに学術奨励賞を授与することを決定した。精度管理推進事業は2023年度奈臨技精度管理調査を実施し、参加施設は56施設であった。本年度も日臨技精度管理事業・データ標準化事業システムを使用して、参加申し込み、入力、集計、評価を行った。報告書は昨年度同様PDF形式による電子ファイル発行とし、奈臨技ホームページに掲載した。生涯教育研修部門は、日臨技に奈臨技学術部が開催する生涯教育研修会の登録を行い、生涯教育研修会制度単位登録を申請した。2024年2月21日（水）基礎研修会をWebライブ配信にて開催した。臨床検査データ標準化委員会、精度保証施設認証委員会は、奈臨技臨床検査長期精度管理の実施、および品質保証施設認証制度の周知活動を行ったことが報告された。

⑥ 渉外部：嶋田事務局長

2024年3月24日（日）公開講演会「人生が変わる睡眠～体内時計を活用した快眠術～」を開催したことが報告された。

⑦ 地域保健事業部：西川地域保健事業部長

なら糖尿病デー2023への参加および臨床検査技師求人情報を奈臨技ホームページに掲載したことが報告された。

⑧ 公衆衛生関連：大西公衆衛生担当理事

3年ぶりに全国「検査と健康展」&医師による検査相談コーナーを技師会独自開催したことが報告された。

⑨ 福利厚生部：三角福利厚生部長

日臨技賠償責任保険に関する取り扱い業務を行った。会員の親睦を深めるための活動は新型コロナウイルス感染を考慮し中止としたことが報告された。

⑩ 広報部：小林広報部長

会誌「まほろば」を1回、奈臨技ニュースを月1回定期的に発行した。また、SNSによる広報活動を開始したことが報告された。

⑪ 地区担当部：山本地区担当部長

入会案内および会員の異動等の対応、施設代表者・施設連絡責任者会議、検査と健康展を担当部門と連携して実施した。また、会員の慶弔に際し電報を送付したことが報告された。

以上、各部局の事業経過について説明を受けたのち、大西議長から第1号議案について質問を求めたが質疑なく、議長は拍手による承認を求め、拍手多数をもって承認された旨、宣告した。

(2) 第2号議案：2023年度決算について

大西議長は、2023年度決算について経理部長に説明を求めた。

2023年度決算報告：上杉経理部長

議案書に基づき、貸借対照表、正味財産増減計算書内訳表、正味財産増減計算書について説明があった。

2023年度決算について説明を受けたのち、大西議長から第2号議案について質問を求めたが質疑なく、議長は拍手による承認を求め、拍手多数をもって承認された旨、宣告した。

(3) 第3号議案：2023年度監査報告について

大西議長は、監事に2023年度監査報告を求めた。

2023年度監査報告：吉岡監事

2023年度事業及び会計について監査を実施し、会務・会計ともに不正なく実施されていることを確認したとの報告があった。

説明の後、大西議長から第3号議案について質問を求めたが質疑なく、議長は拍手による承認を求め、拍手多数をもって承認された旨、宣告した。

(4) 第4号議案：2024年度事業計画について

松本議長から、2024年度事業計画案について一括説明後に質疑を求めるとの説明後、各担当理事から議案書に沿って説明があった。

① 総括：倉田会長

今年度も日臨技事業の柱である「タスクシフト/シェア厚生労働大臣指定講習会」、「臨地実習指導者講習会」、「品質保証施設認定制度」の事業を展開する。ポストコロナの中、対面での講習会を再開し、Web講習会も引き続き実施していく。また、会員同士の情報交換の場を設けられるよう、近隣の技師会とタイアップし取り組むことなどが説明された。

② 事務局 総務部：嶋田事務局長

今年度は執行部改選の年となるが円滑に引継ぎを行い、より活発な議論、運営を進めていく。そのために事務局として迅速な情報提供、事務処理を行っていくことが説明された。

③ 事務局 経理部：上杉経理部長

財政の適正化のため最適な収支バランスに注力し、予算編成を行い事業展開の実効性を進捗管理していく。一般社団法人としての財務・税務会計の維持のため、適正な会計処理を行い、事業活動の効率的運営を図る。また会計業務を適正に処理し、法人の公益目的事業費用規模の維持・継続に努めることが説明された。

④ 組織法基部：西原組織法規部長

会員加入の促進、施設代表者会議の開催、新人会員および一般会員を対象とした研修会の開催、必要に応じて各部での事業遂行上制定すべき細則の整備を行うことなどが説明された。

⑤ 学術部関係：森嶋副会長、小泉学術部長、中村精度管理担当部長、小谷生涯教育担当部長

検査研究部門運営委員会が中心となり、昨年と同程度の研修会を予定している。また、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、Web開催とともに現地開催および実技講習会の実施再開を検討する。2024年度奈良県医学検査学会はテーマを『GAPを克服するために～世代・分野・立場を超えて～』とし、3つの特別企画を準備した。

精度管理は2024年度も日臨技のシステムを利用して行い、可能な限り評価項目を増やす方向で考えている。

生涯教育研修事業は基礎教科研修会を開催予定である。

臨床検査標準化委員会・精度保証施設認証委員会は、データ標準化や精度保証施設認証に関し、奈臨技ニュース等を通じて啓発活動を行う。2023年度奈臨技長期精度管理調査報告会の実施、および2024年度長期精度管理調査の取り組み方法について検討することなどの説明があった。

⑥ 渉外部：嶋田事務局長

公開講演会の現地開催を計画していることや検査展の開催を予定していることが説明された。

⑦ 地域保健事業部：西川地域保健事業部長

生活習慣病の予防や健康への啓発を目的とした行事への参加要請があれば積極的に参加すると共に、県民への臨床検査啓発活動を推進する。臨床検査技師求人情報を奈臨技ホームページに掲載し、円滑な病院運営の一助を担っていくことが説明された。

- ⑧ 地域保健事業部 公衆衛生関連：大西公衆衛生担当部長
日臨技公益事業として、がん撲滅のための検診受診の啓発、S T I 予防そして臨床検査のP R活動を行っていくことが説明された。
- ⑨ 福利厚生部：三角福利厚生部長
技師会活動において必要に応じて障害賠償保険加入の手続きを行う。会員相互の交流、親睦を深めるための同好会活動を助成していくことが説明された。
- ⑩ 広報部：小林広報部長
会誌「まほろば」、「奈臨技ニュース」の発行、S N Sによる広報活動を行うことが説明された。
- ⑪ 地区担当部：山本地区担当部長
執行部と会員および会員施設間の連絡調整を行い、案件を処理する。事業に必要な実務委員等の推薦依頼を行うことが説明された。

以上、各部局の事業計画案について説明を受けたのち、松本議長から第 4 号議案について質問を求めたが質疑なく、議長は拍手による承認を求め、拍手多数をもって承認された旨、宣告した。

(5) 2024 年度予算案について

松本議長は、2024 年度予算案について経理部長に説明を求めた。

2024 年度予算案：上杉経理部長

議案書に基づき予算案の説明があった。追加事項特になし。

2024 年度予算案について説明を受けたのち、松本議長から第 5 号議案について質問を求めたが質疑なく、議長は拍手による承認を求め、拍手多数をもって承認された旨、宣告した。

(6) 第 6 号議案：2024 年度、2025 年度役員について

松本議長は、坂本選挙管理委委員長に説明を求めた。

2024・2025 年度役員：坂本選挙管理委員長

定款および役員選任規定に従い立候補の受付を行ったが、立候補はなかった。そこで役員推薦委員会に役員の推薦依頼を行い、第 6 号議案に提示した方々を役員候補としたことが説明された。

役員改選について説明を受けたのち、松本議長から第 6 号議案について質問を求めたが質疑なく、議長は拍手による承認を求め、拍手多数をもって

承認された旨、宣告した。その後、坂本選挙管理委員長より新理事を代表して倉田主税氏に当選証書が授与された。

(7) 第7号議案：一般提出議題について

松本議長は、事務局に一般提出議題の説明を求めた。

嶋田事務局長から、総会10日前までに一般提出議題の提出がなかったことが報告された。

松本議長より、会場の出席者に緊急動議の有無が確認されたが無く、第7号議案の審議の終了と本日の審議事項が全て終了したことを宣告した。

VII. 総会役員及び書記の解任

松本議長から、総会役員及び書記を解任する旨の通告と、協力への謝辞が述べられた。

VIII. 議長挨拶

松本議長から、議事の進行の協力に対し謝意が述べられた後、自らを解任する旨宣告した。

IX. 閉会の辞

北川副会長から、一般社団法人 奈良県臨床検査技師会 2024年度定時総会の閉会宣告が行われた。

以上、式次第はすべて終了し解散した。

2024年5月26日
一般社団法人 奈良県臨床検査技師会
会長 倉田 主税
監事 吉岡 明治
監事 西浦 宏和